

別添 1

暮らし・にぎわい再生事業計画

小田原駅周辺地区第 2 期

平成 3 1 年 2 月 2 0 日

小田原市

## 1. 再生事業計画区域

### ①計画区域の位置

神奈川県小田原市栄町一丁目の一部

### ②計画区域の面積

約 0.6ha

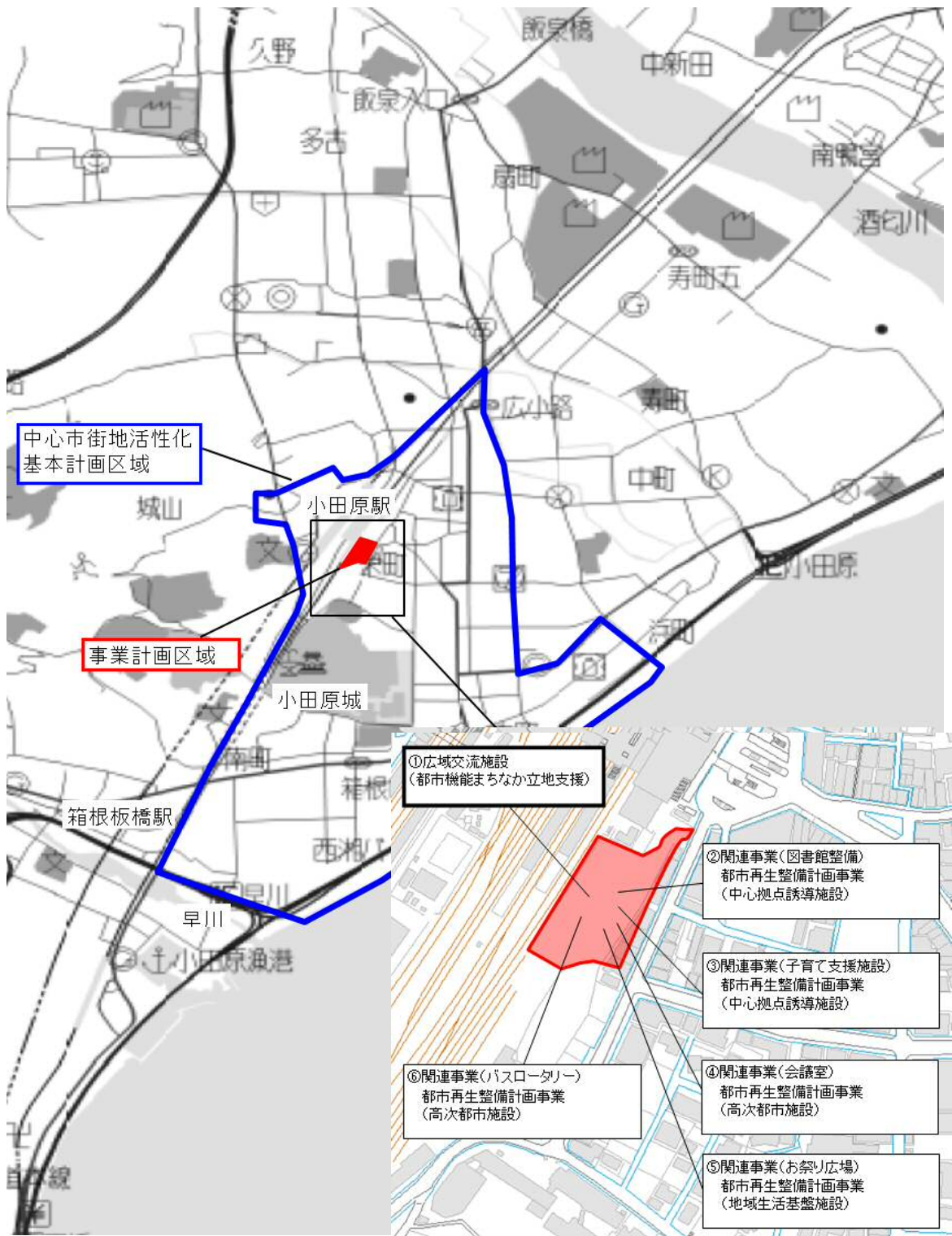
### ③区域設定の考え方

本地区は小田原市の中心市街地活性化基本計画区域の小田原駅周辺部に位置し、基本計画の区域の中でも、富士・箱根・伊豆地域における広域交流の玄関口である広域交流コアの一角にあり、中心市街地はもとより、神奈川県西部地域の住民にとっても重要な生活拠点地区の一部として栄えてきた。

しかし、近年、景気低迷により商業機能の低下がみられ、かつてのにぎわいとともに関点としての意義も失われつつある。

そこで、本地区では暮らし・にぎわい再生事業の都市機能まちなか立地支援により、小田原駅至近において公共・公益施設と民間施設が入居する複合施設を整備することで、質の高い公共的空間を確保しながら、小田原の顔づくりとして相応しい土地利用を図るため、計画区域を設定した。

【位置図】



## 2. 総事業費

14,218百万円

## 3. 暮らし・にぎわい再生事業計画区域の整備方針

1) 再生事業計画区域が抱える課題	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 景気低迷や夜間人口の減少、郊外への大型店出店等による商店数や来街客数の漸減</li><li>・ 観光客など交流人口に視点を置いた集客力の向上</li></ul>
2) 再生事業計画区域で整備する予定の都市機能導入施設	<p>【整備する予定の都市機能導入施設】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 広域交流施設 コンベンションホール、図書館、子育て支援施設、会議室、お祭り広場、クリニック、商業等施設、展望広場、バスロータリー、駐車場、賑わい交流広場、緑化施設</li></ul>
3) 都市機能導入施設整備の効果	<p>中心市街地における各効果</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 関係観光施設の年間入場者数の増加・・・181,236人/年</li><li>・ 小田原駅周辺商店街の流動客数の増加・21,611人/年</li><li>・ 小田原駅の乗車人員数の増加・・・・・・1,303人/日</li></ul>

4. 都市機能導入施設及び公開空地等の整備計画の概要（全体概要）

【事業概要書】

番号	補助対象施設	補助種別	補助区分	公益施設の種類の種類	事業期間
①	広域交流施設	コア事業	都市機能まちなか立地支援		H27-H31
	・コンベンションホール			地域交流施設	
	・防災倉庫			防災関連施設	
	・駐車場			地下駐車場	
	・賑わい交流広場			地域交流施設	
	・外構	付帯事業	関連空間整備	緑化施設	
①	・図書館	都市再生 (参考)	基幹事業（中心拠点誘導施設）	教育文化施設	H27-H31
	・子育て支援施設			子育て支援施設	
	・会議室		基幹事業（高次都市施設）	地域交流施設	
	・バスロータリー			複合交通センター	
	・お祭り広場		基幹事業（地域生活基盤施設）	地域交流施設	

【事業スケジュール】

番号	H27	H28	H29	H30	H31
①	.....	.....	.....	.....	.....

5. 整備計画に従って行われる主要な事業の概要（個別）

【個別施設概要書】

番号	①	施設名	広域交流施設	事業期間	H27～H31
補助種別			コア事業	補助区分	都市機能まちなか立地支援
階数			地上14階、地下1階	構造	耐火構造
敷地面積(m <sup>2</sup> )			5,650 m <sup>2</sup>	延床面積(m <sup>2</sup> )	34,462 m <sup>2</sup>
施設用途(都市機能導入施設の概要)					
コンベンションホール、図書館、子育て支援施設、会議室、お祭り広場、クリニック、商業等施設、展望広場、バスロータリー、駐車場、賑わい交流広場、緑化施設					



6. 提出参考資料

- ・ 区域詳細図・・・別添 1

別添 1

【区域詳細図】

